



つくば市未来構想等改定のための 市民ワークショップ ニュースレター

第1回

つくば市のいいところ
残念なところ
今後起きそうなこと

発行日：平成30年11月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

◆つくば市未来構想等改定のための市民WSを開催しました！

つくば市では、まちづくりの総合的な指針である未来構想の改定にあたり、市民の皆様が考えるつくば市の強みや弱み、今後の未来像などについて意見交換を行うワークショップを開催しました。

第1回は、32名の参加者を5つのグループに分けて実施し、幅広い年代の皆様からご意見を頂きましたので、概要をご紹介します。



日時：平成30年10月28日（日）10:00～12:40
会議場所：つくば市役所 2階 会議室 202
参加者：32名（事務局含まず）

◆主な意見交換内容

1. グループ討議で出された意見（各グループで共通していた意見や主な意見の紹介）



第1回のワークショップでは、3つのテーマ（①つくば市の市勢・特性の強み、弱み、②つくば市が今後直面する可能性のある課題、③今後、直面する可能性のある機会や脅威）について意見交換しました。

各グループでの主な意見は以下の通りです。

テーマ1：つくば市の強み（いいところ）や弱み（残念なところ）

●強み（いいところ）

首都圏へのアクセスが良好、TX沿線における人口増加、研究所・先端科学技術の集積、教育レベルが高い、恵まれた自然環境がある、子どもが多い、多様な人材が住んでいる、土地や道路が広い、など

●弱み（残念なところ）

郊外部の過疎化の進行、地域間格差の拡大、地域のコミュニティが弱い、世代間交流が無い、施設の老朽化、公共交通が不便、自動車中心の移動手段、高校が少ない、図書館が少ない、など



テーマ2：つくば市が今後直面する可能性のある課題

●少子高齢化社会に関する課題

高齢者が増える、移動困難者が増える、介護が不足する、農業の後継者不足、地域のつながりの希薄化している、など

●地域格差の拡大、まちづくりの衰退や施設老朽化に関する課題

郊外部の過疎化が進行する、インフラ・施設の老朽化、空き家の増加、公務員宿舎の跡地活用、など

●つくば市のPR・ブランディングに関する課題

観光誘客が弱い、都心勤務地にとってのベッドタウン化している、つくば市らしさの欠如している、など



テーマ3：つくば市に訪れる機会や脅威

●機会（近い未来に生じる良い事象や市内で期待されている事業）

自動運転技術の活用、つくばエクスプレスの活用、ITを活用した農業振興、AI技術の活用、グローバル化

●脅威（放っておくとおびやかされること）

本格的な高齢化社会の到来、世代間交流の消滅、インフラの老朽化、研究所の持続的な立地

◆お問合せ◆つくば市役所 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111

*未来構想に関する質問・意見等は、企画経営課のメールアドレスまで pln010@city.tsukuba.lg.jp（※には@を入れてください）

3. 各グループの主な意見（総括）と特徴



A班

高齢者が活躍できる社会の実現と多世代交流

- ・ 高齢化により元気な高齢者、働ける高齢者が活躍できる環境づくりが必要になる。生涯現役で働ける社会づくりの取り組みが大切。
- ・ 筑波大等にいる若い世代とその他の世代間の交流を広げることが重要。

D班

豊かな自然環境と教育を活かしたまちづくり等を議論

- ・ つくば市の自然環境や研究学園都市としての強みを活かし、教育に注力したまちづくりが大切。
- ・ 市民同士のつながりや雇用創出によるつながりなど交流づくりが大切。

B班

新技術の活用、自然環境、地域コミュニティ強化

- ・ つくば市の弱みである車に頼る生活行動を自動運転技術の導入により解決できないか
- ・ 市民活動やコミュニティの強化によりまちなかの活性化を図ることが必要。

E班

つくばらしさを活かした未来像について議論

- ・ 先端科学技術の集積以外にもつくばらしさを追求し未来像を合意していくことが大切。
- ・ 東京への良好なアクセスや子供が多いなどの特徴を活かした魅力あるまちづくりを推進することが必要。

C班

地域格差解決と既存ストックを活かしたまちづくり

- ・ つくば駅周辺が栄えている一方、周辺市街地を含めてインフラの老朽化に課題がある
- ・ 休耕地や研究機関の利活用等、既存のストックを活かしたまちづくりを



4. ふりかえり：ワークショップの後、みなさんからたくさんのご意見を頂きました！！



○：参加してよかったと思うこと

●色々な人の意見を聞くことができた

- ・ 様々な年代の方々のご意見を伺うことができとても参考になった。
- ・ 自分では考えていなかった意見が聞けた。
- ・ 色々な立場の人の意見が聞けたこと。

●よい意見交換ができた

- ・ 意見交換が活発に行われた。
- ・ 思ったよりも話しやすかった。

●つくば市に必要なことを考える良い機会になった

- ・ 未来のつくば市を考える良いきっかけとなった。
- ・ つくば市のことを考える機会を得たことに感謝。
- ・ 地域の問題について色々な意見を出すことができた（ブレインストーミングできた）。

□：十分に話せなかったこと

●学校・教育について

- ・ 学校のマンモス化や高校の誘致について。
- ・ 教育と福祉をつなげることで良い社会にできるのではないかと。

●個別意見の深堀が必要

- ・ それぞれの方の意見を深堀して聞くことが出来なくて残念。
- ・ みなさんの話をもう少し長く聞けたら良かった。

●その他

- ・ つながりをどうするかもう少し話したかった。
- ・ 移動するには、つくば市は広すぎるので、高齢者障害者にとって便利な場所に住んでもらい、介護人材の移動の負担を減らせると良い。

?：質問や今後の進め方などに対するご意見

☆：その他ご自由にご記入下さい

●意見交換の時間について

- ・ 全体的に時間が足りなかった。
- ・ 参加者間の話し合いが出来る時間がほしい。
- ・ ワークショップのタイムマネジメントが明確になると進めやすい。

●意見交換の方法について

- ・ 様々な意見が出たので、興味あるカテゴリーごとに分かれて話を進める機会があればいい。
- ・ 参加者での話し合いは適宜メンバーをシャッフルしてほしい。

●未来構想について

- ・ 今回のワークショップを通じて市民の未来像をぜひ未来構想に入れてほしい。
- ・ 従来の総合計画の出来なかった部分をつくばらしさでカバーしてほしい。

●その他

- ・ 国の研究機関との連携についてどこまで進んでいるのか知りたい。
- ・ 最初のアイスブレイクとしての「スイス国籍の人数」はグループの緊張をほぐすのによかった。

第2回ワークショップ（募集締切り）



日時：平成30年12月2日（日） 内容：つくば市の未来に実現してほしいこと、今必要なこと
第2回の開催結果についても同様にニュースレターとしてお知らせする予定です。